**研究業績書（様式②）の作成要領・作成例**

**作成要領**

１．学術論文、著書、翻訳、調査報告書、学会発表等（活字化されたもの）を「学術論文」・「著書」・「その他」に区分し、当該小見出しを明記するとともに、その区分ごとの業績を年月日順に記載してください。【年号は西暦で記入】

２．各業績については、「著者名」「発行年」「題名」「掲載誌名、巻、号、最初頁～最終頁、または発行箇所」の順に記載してください。

３．著者が複数の場合には全員の氏名を、第一著者から順に記載し、本人部分に下線を引いてください。

４．分担執筆による「著書」の場合には、担当部分の題目と最初頁～最終頁も記載してください。共訳による「翻訳」も同様にしてください。

５．出願書類の作成にあたって、文字のフォント、大きさは指定しません。(ただし、所定用紙の体裁は厳守してください)。

|  |
| --- |
| **作成例　(Sample)** |

**様式②**

**2026年度 大学院スポーツ科学研究科　入学試験**

**研究業績書**

|  |
| --- |
| 以下内容は　**\*\*\*\***年　**\***　月　**\*\***　日　現在 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ | **ワセダ　タロウ** | 専攻分野自身が研究をしている専攻分野名をわかりやすく記入のこと | **スポーツ文化** |
| 氏名 | **早稲田　太郎** |
| **＜学術論文＞**1.　早稲田太郎：2012　○○○の研究．日本□□学会誌，54巻3号，15-24頁．2.　小手指一郎，早稲田太郎，所沢太郎：2014　△△△に関する考察．□□神経，31巻2号，31-45頁．3.　早稲田太郎，小手指一郎：2015　☆☆と★★の関連．▼▼研究の進歩，39巻2号，95-106頁．**＜著　書＞**1.　早稲田太郎：2013　◇◇◇◇入門．凸凹出版．2.　所沢太郎，早稲田太郎：2014　□□□の科学．◇◆書店．3.　早稲田太郎：2015　□□□の行動．凸多凹男（編）「生物と行動」，▲▽書房，175-198頁（凸多凹男他12名と分担執筆）．**＜その他＞**《学会発表》1.　早稲田太郎，小手指一郎，所沢太郎：2012　○○○を用いた◇◇の解析．第Ｎ回日本□□学会大会発表論文集， 101頁．2.　小手指一郎，所沢太郎，早稲田太郎：2013　新しい△△の分析手法．第ｎ回日本○△学会大会号，308-309頁．《翻訳》1.　早稲田太郎：2014　□▽□▽□学．○○書店，98-120頁（小手指一郎他10名と分担翻訳）． |

**様式②**

**2026年度 大学院スポーツ科学研究科　入学試験**

**研究業績書**

|  |
| --- |
| 以下内容は　　　　年　　　月　　　日　現在 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  | 専攻分野自身が研究をしている専攻分野名をわかりやすく記入のこと |  |
| 氏名 |  |
|  |

※枠に収まらない場合は適宜枠を広げて記入してください。